

明けまして おめでとうございます！ 福島ロータリークラブ会長 浦部博と申します。みなさま、すがすがしい気持ちで、新年をお迎えのことと存じます。本日は年に一度、福島県知事さま・福島市長さまをお迎えし、市内 8 クラブの会員が一堂に会しての合同新年会であります。

300 人をこえるロータリアンにお集まりいただき、このように盛大な新年会を開催することができましたことに、深く感謝するとともに、この機会に、楽しみにしておりました、他クラブとの交流を大いに深めて頂きたいと思います。

さて、昨年は「災」という言葉で締めくくられたように、われわれがかつて経験したことがない、大規模な自然災害に見舞われました。他にも、仮想通貨の流出、米中貿易摩擦、政治の混乱、ゴーン問題等、さまざまな事案が発生しております。まさに災いと混乱の年でありました。

しかし、今年は違います。五月には新年号に変わります。

未だ発表されておりませんが、若々しい斬新な年号となって、災害・不安・不正の負の連鎖が解消して、日本が安心・公正・好況といった「明るい社会に」立ち返ることを念願しております。

また一方で、新しい年号に代わるとともに、社会の変化はますます多様化し、加速化するでしょう。しかし、社会の秩序や骨組みが変わるときは、飛躍と発展の可能性を秘めた時代でもあります。われわれ地域のロータリアンは、変化の時代にこそ、その力を証明しようではありませんか。そして、地域社会のためにみんなで英知を集め、社会貢献を行うことで「ロータリーの公共イメージと認知度の向上」を進めていけたら幸いである、と思っております。

今年が、皆様にとりまして、希望に満ち、健康で幸多き年でありますように、心からご祈念申しあげて、ホストクラブ会長のごあいさつといたします。